

立憲民主党埼玉県第5区総支部

2024年度活動報告

(2024年1月1日～2024年12月31日)

1. 活動の概要

2024年は、年内に衆議院が解散され総選挙となる公算が高かったことから、枝野幸男総支部長の小選挙区での圧倒的な勝利を、最大の目標として活動を進めました。

10月9日に衆議院が解散され、10月15日公示・27日投開票で総選挙が実施されました。枝野は11回目の当選を小選挙区で果たし、4回続いていた自民党候補の比例復活を阻止する結果となりました。

これに先立ち、9月23日に投開票された立憲民主党代表選挙に枝野が立候補し、出身総支部としてその活動を支援しました。枝野は、上位2名による決選投票に進んだものの残念ながら当選には至りませんでした。

2025年に行われる参議院議員通常選挙に備え、当総支部出身で改選を迎える熊谷裕人参議院議員との連携をさらに強化しました。

これらの活動に総支部全体が一体感をもって取り組むため、党员・サポーターズ・パートナーズを開催しました。

2. 党员等の募集

当総支部には一般党员 279 名、協力党员(サポーターズ)629 名が所属し、パートナーズ(一般党员等との重複を除き1名)を合わせて、909名の態勢となっています(2024年12月31日現在)。これは、一般党员226名、協力党员660名、パートナーズ22名(一般党员等との重複を除く)を合わせて、908名の態勢であった2023年12月31日から、1名の増でした。

3. 集会等の開催

2月25日に総支部定期大会を開催したのに加え、7月20日には市民会館おおみやレイボックホールの集会室で「党员・サポーターズ・パートナーズ集会」を開催して国政報告と自治体議員からの議会報告を行い、参加者の皆さんからご質問やご意見を伺いました。

また、下記のとおり行政区単位で「地域ミーティング」を開催し、よりきめ細かくご質問やご意見を伺いました。

4月6日 北区/プラザノース

中央区/与野本町コミュニティセンター
4月21日 北区/日進公園コミュニティセンター
西区/馬宮コミュニティセンター
大宮区/宇宙劇場集会室

「地域ミーティング」は11月にも企画していましたが、総選挙直後となったことから断念しました。

総支部長が実施しているオープンミーティングも、計5回開催しました。

4. 広報・宣伝活動

① 広報誌『立憲民主』号外・埼玉5区版の発行

総支部長の国会における活動と政策を中心に、『立憲民主』号外・埼玉5区版「えだの幸男・国会レポート」を年6回発行し、ボランティアの皆さんによる協力を得て、約25万枚(駅頭配布等も含む。)ポスティングしました。

10月には、総支部長が掲げる「人間中心の経済-ヒューマンエコノミクス」や、その活動内容などを紹介したカラーの『立憲民主』号外・埼玉5区版も発行し、約16万枚配布しました。

各自治体議員も、それぞれの議会報告・活動報告などを発行し、精力的に配布しました。

② 街頭活動

朝の通勤時間帯に実施し続けている街頭演説活動は、計55回(総選挙期間中を除く)実施しました。

各自治体議員も、それぞれに駅頭での活動を実施しました。

③ 流し遊説活動

選挙時以外においても、総支部の街頭宣伝カーに総支部長が自ら乗り込み、みずからの声で党の政策や活動を語りかける流し遊説活動を強化し、計23回(総選挙期間中を除く)実施しました。

④ 集会告知ポスター

総支部長を弁士とする集会告知ポスターについて精力的な貼付を進めました。

5. 総選挙

①. 主な活動

今回も、多くのボランティアの皆さんに、公営掲示板へのポスター貼付、ポスターへの証紙貼付、ポスティング、電話かけなどの支援をいただきました。

推薦いただいた労働組合の皆さんには、宣伝カーへの乗車、電話作戦、公営掲示板へのポスター貼付、比例ポスターの貼付のほか、公選ハガキ発出用名簿の提供などでご支援いただきました。

公選ハガキは、事務所内名簿を中心に、一部支援労組と支援者からの協力を得たほか電話帳抽出名簿と選挙人名簿で補い、限度数である55,000通を発送しました。また、ボランティアの皆さんによって、支持者名簿と一般名簿をあわせ約22,000件の電話をかけました。

枝野は、直近3回の総選挙では、党代表や幹事長として全国を遊説し、地元にはほとんど戻りませんでした。しかし今回は、朝の駅頭での宣伝活動と宣伝カーによるいわゆる流し遊説を基本に、のべ9日間にわたり計56時間、全体の約3分の1を地元での活動に充てることができました。残る約3分の2の時間、延べ9日間は、埼玉県内はもとより、北海道から宮崎まで26陣営の応援に回りました。これを補うべく、総支部所属の自治体議員が、交代で宣伝カーに乗車して活動したほか、2チームに分かれて朝夕の駅頭での政党活動を実施しました。

いわゆるネット戦略としては、選挙期間中の候補者本人の活動を中心に、XとFacebookで頻繁に発信し、自治体議員などがリツイートによる積極的な拡散を実施しました。

②. 選挙結果

当日有権者数395,908人 投票者数216,813人 投票率54.76%

当選 枝野幸男/立憲	107,778票(得票率51.00%)
牧原秀樹/自民	78,250票(得票率37.00%)
辻村千尋/れいわ	15,295票(得票率7.20%)
山本悠子/共産	10,098票(得票率4.80%)

比例代表 立憲民主党 62,624票(得票率29.38%)

(参考:21.10.31 第49回衆議院選挙)

当日有権者数397,522人 投票者数224,915人 投票率56.58%

当選 枝野幸男/立民	113,615票(得票率51.38%)
牧原秀樹/自民	107,532票(得票率48.62%)
比例代表 立憲民主党	66,634票(得票率30.14%)

③. 総括

枝野総支部長は、前回総選挙後に党代表を降り、総選挙までの3年間、メディア露出が大きく減った一方で、約10年ぶりに地元での日常活動を充実させることができました。また、総選挙直前の9月には、党代表選に出馬し決選投票まで進んだものの惜敗しました。これらが選挙結果にどう影響するのか、見極めきれない中での選挙となりましたが、前回から約6,000票、得票率で0.38%ポイントの減少という、ほぼ横ばいの結果でした。

自民党候補は、裏金問題と投票日直前の2,000万円問題等で大逆風となっ

たことに加えて、本人の統一教会問題や SNS への不適切書き込み問題が注目されたことで、前回から約3万票減りました。

これらの結果、総支部長は、次点の自民党候補に約29,000票差をつけ、2017年以來のいわゆるゼロ打ち当確で、2009年から15年ぶりに相手候補の比例復活を許さない結果となりました。

前回は自民党との一騎打ちであったのに対して、今回は、共産党とれいわ新選組が候補者を擁立して、いわゆる野党分裂選挙となりました。両党の候補者を合わせると、共産党が候補者擁立して三つ巴であった2014年の18,000票余を大きく超える約25,000票を獲得しましたが、枝野の得票は前回とほぼ横ばいで、2014年よりも17,000票余増えました。枝野は、選挙前から「野党候補を立憲民主党に一本がすることが、必ずしも常に有利に働くとは限らない」と分析して公言していましたが、このことがある程度裏付けられる結果となりました。

比例復活を許さなかったことで、次回総選挙では、自民党が新人を擁立する可能性が高くなりました。その「目新しさ」に対して、「マンネリズム」に陥ることなく、ここ3回続いている10万票、得票率50%超えははもちろん、過去最大得票である2009年の約13万票、得票率約60%が目標となります。

今後は、さらに支援の輪を広げるために、選出衆議院議員が一人となった状況を活かして地域行事などでの露出を増やすとともに、戦略的な支持者拡大活動を進めていきます。加えて、SNS の活用が重要性を増す中、従来型の地域日常活動に加えて、YouTube や X などの視聴者、フォロワーを日常的に増やす努力を進めていきます。

以上

立憲民主党埼玉県第5区総支部

2025年活動計画（案）

（2025年1月1日～2025年12月31日）

1. 活動の概要

2025年は、7月に参議院議員通常選挙が、それに先立つ5月にはさいたま市長選挙が行われます。

参議院議員選挙の埼玉県選挙区では、当総支部出身でさいたま市議会議員を長く経験してきた熊谷裕人参議院議員の公認が決まっており、埼玉5区のエリアでは1位の得票となることを目標に連携して活動を進めます。

さいたま市長選挙では、市議会議員団の判断を尊重して対応します。

与党過半数割れの衆議院は、いつ解散があってもおかしくないため、文字どおり常在戦場の意識でこれに備えます。

これらの活動に総支部全体がさら一体感をもって取り組むため、党员・協力党员（サポーターズ）やパートナーズが直接参加できるイベントの開催などに努力します。

具体的な総支部活動は、「立憲民主党2025年度活動方針」ならびに「立憲民主党埼玉県総支部連合会2025年度活動方針」を踏まえ、月一回を原則に開催する常任幹事会で確認しながら進めていきます。

2. 党员等の拡大

党员と協力党员（サポーターズ）、パートナーズの拡大を目指し、参加の呼びかけを強化します。党员と協力党员、パートナーズの皆さんには、新たなメンバーに参加いただけるよう、呼びかけやご紹介をお願いします。

党外のさまざまな「草の根」の声を受けとめていけるよう、サポーターズ制度も活かしながらネットワークの拡充を目指します。

3. 集会等の開催

3月1日の総支部定期大会に加えて、6月27日に参議院選挙に向けた総支部決起集会を実施します。また、11月を目途に「党员・サポーターズ・パートナーズ集会」を開催し、国政報告と自治体議員からの議会報告を行って、皆さんからのご質問やご意見を伺います。党员・協力党员とパートナーズの皆さんには、積極的なご参加をお願いします。

4月19日と20日に行政区単位で「りっけん地域ミーティング」を開催し、地域の皆

さんからよりきめ細かくご質問やご意見を伺います。党员・協力党员とパートナーズの皆さんには、お近くでの地域ミーティングに、お知り合いなどにお声がけをしてお参加いただければ幸いです。「りっけん地域ミーティング」は11月にも開催する予定です。

参议院選挙決起集会や地域ミーティングに力を入れることから、総支部長が実施しているオープンミーティングは、年5回に集約します。

4. 広報・宣伝活動

① 広報誌『立憲民主』号外・埼玉5区版の発行

総支部長の国会における活動と政策を中心に、『立憲民主』号外・埼玉5区版「えだの幸男・国会レポート」を年6回程度発行し、ボランティアの皆さんによる協力を得て、50万枚(駅頭配布等も含む)を目標にポスティングします。党员・協力党员とパートナーズの皆さんには、ポスティングのご協力をいただければ幸いです。

6月上旬をめどに、カラーの『立憲民主』号外・埼玉5区版を発行し、16万枚を目標に配布します。

総支部所属自治体議員も、それぞれの議会報告などを発行し、精力的に配布します。

② 街頭活動

朝の通勤時間帯に実施し続けている街頭演説活動は、週2回を目標に最大限の頻度で実施します。

3月から10月にかけては、街頭宣伝カーに総支部長みずから乗車して語り掛ける流し遊説を可能な限り実施します。

総支部所属自治体議員も、それぞれに駅頭での活動を精力的に実施します。

③ 集会告知ポスター

総支部長による集会告知ポスターは、順次、熊谷裕人参议院議員を加えた2人を弁士とするものに貼り替え、1,000枚を目標に貼付を広げます。党员・協力党员とパートナーズの皆さんには、ご自身のご自宅等への貼付と、貼付可能な場所のご紹介などをいただければ幸いです。

5. 総選挙に向けて

参议院議員選挙に向けて、公選ハガキをお送りするなどのため、支持していただける可能性のある方の名簿を事前に集めて整理します。党员・協力党员とパートナーズの皆さんにも、お知り合いなどをご紹介いただければ幸いです。

以上